



▲当時の渡し船の様子や、両地区の交流などについて話す千葉さん

豊里で北上川定期船（渡船）事業終了式 渡し船の運行に思いを寄せる

豊里^{とよさと}鴉波地区と津山柳津地区で運行されてきた北上川定期船（渡船）の事業終了式が6月4日、鴉波地区船着場で行われました。渡し船は古くから地域で運営され、昭和44年からは豊里・津山両町の町営事業となり、地域の交通手段として活躍してきましたが、利用者の減少などにより、その役割を終えることになりました。終了式には両地区の市民約70人が出席し、2人の弟が船頭をしていた千葉政幸さんの思い出話を聞いたり、最後の運行となる船に乗るなどして渡し船に思いを寄せました。

登米で明治村ゲートボール大会 青空のもと好プレーを展開

第19回登米町「みやぎの明治村」ゲートボール大会（登米町ゲートボール協会ほか主催）が6月6日、登米小学校の校庭を会場に開催されました。大会には市内を始め、遠くは気仙沼市や美里町などから合計36チームが参加。試合では、6つのブロックに分かれたリンク方式で勝敗を競い合いました。晴天に恵まれ、絶好のスポーツ日和となった当日、選手の皆さんは皆きびきびとしたプレーを展開しました。好ゲームが繰り広げられた結果、気仙沼市のザ・ドラゴンチームが見事優勝に輝きました。



▲コート場で、日ごろ鍛えたステッキさばきを披露する選手の皆さん

米山で春の歩け歩け大会 平筒沼の新緑の季節を楽しむ

春の歩け歩け大会が6月5日、平筒沼ふれあい公園で開催されました。参加者は平筒沼youyou館を出発し、各コミュニティ運営協議会の役員の先導のもと平筒沼周囲約6kmの遊歩道を2時間ほどかけウォーキングしました。当日は雨が降るあいにくの空模様でしたが、参加者は青々とした葉が茂る新緑の中、心地よい汗を流しながら初夏の平筒沼の風景を満喫しました。また途中には、平筒沼農村文化自然学習館で休息をとり、カマ神さまなどの展示物や学習館から眺める景色を楽しみました。



▲平筒沼の新緑を楽しみながらウォーキングする参加者



▲「幼年消防クラブ員として任命します」と任命証が手渡されました

つやま幼稚園で幼年消防クラブ任命式 園児みんなで火の用心！

正しい火の取り扱いを学び、火遊びや火災防止に努める、「幼年消防クラブ」の任命式が5月27日つやま幼稚園で行われ、今年入園した年少組の17人の園児たちが「幼年消防クラブ」の仲間入りをしました。任命式では園長先生から「あなたを幼年消防クラブ員として任命します」と、一人一人に任命証が手渡されました。また、登米消防署津山出張所長からは、「火事を出さないようにしましょうね。約束できますか？」との問い掛けに園児たちは「はい！」と、元気いっぱい返事をしていました。



▲掘り出し物や、お得な商品が見つかるチャリティーバザーは大人気

中田で石森高市開催 活気あふれる初夏の風物詩

石森高市（石森コミュニティ運営協議会主催）が、6月5・6日の両日、石ノ森章太郎ふるさと記念館前駐車場で開催されました。石森高市は、平成15年に地元有志によって復活し、今年で8回目の開催となりました。5日は天候が悪く来場者も少なめでしたが、翌日は晴天に恵まれ、多くの方が会場を訪れました。中でも石森コミュニティ女性部によるチャリティーバザーには多くの方が集まり賑わいを見せていました。また、よさこい演舞や太鼓演奏なども行われ、会場は華やかな雰囲気に包まれていました。

南方で南方大運動会 会場が一つになり盛り上がる

市南方大運動会が5月30日、南方中央運動広場を会場に約1300人が参加して盛大に開催されました。今年度は中央・東郷・西郷の各地区コミュニティが中心となって準備から運営までを担当し、参加資格を70歳以上と幼稚園児以下に限定した玉入れや、年齢別リレーなど、幼児から高齢者まで一緒に楽しめる種目を実施しました。競技中、応援席のテントからは大きな声援や拍手が送られるなど、選手の皆さんだけでなく、観戦していた皆さんも一つになり大いに盛り上がっていました。



▲大接戦の「仲良しリレー」会場からは大声援が送られていました